

2012 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	経済学部	身分	教授
氏名	渡邊 浩司		
NAME	WATANABE, Koji		

1. 研究課題

(和文) 中世フランス語散文『ランスロ本伝』研究

(英文) Recherches sur le *Lancelot propre*, roman arthurien en prose du XIII^e siècle

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度)

(和文) 本研究は、13 世紀中頃に成立した古フランス語散文「聖杯物語群」の中核をなす『ランスロ本伝』を対象とし、「聖杯物語群」中で果たす役割、物語構造や神話的要素の分析を目的とした。2 年の研究期間のうち、2012 年度は資料収集と先行研究の総括、2013 年度は具体的な挿話分析を行った。

研究成果のうち、『ランスロ本伝』が「聖杯物語群」で果たす役割については、第 80 回チヨーサー研究会での発表 (2012 年 7 月、駒澤大学) と、中央大学人文科学研究所編『人文研紀要』第 73 号 (2012 年 9 月) 所収の拙稿、さらには『チヨーサー研究会 20 周年論集』(2014 年 4 月) に寄せた拙稿で検討した。いずれも 5 作品からなる膨大な「聖杯物語群」の写本伝承、作者、成立年代をめぐる先行研究を批判的に検討しながら、物語群中の『ランスロ本伝』の位置づけに注目した。

「聖杯物語群」を伝える写本は、断片も含めれば 160 点以上に及ぶが、このうち物語群全体を収める写本は 8 点に留まる。本研究で底本としたボン大学図書館 526 番写本 (1286 年筆写) は、筋書き上 3 分割するのが慣例である長大な『ランスロ本伝』を、独自の編集方針により 4 分割しているのが特徴的である。

『ランスロ本伝』の挿話分析については、物語前半に位置する「喜びの砦」挿話を対象にした成果を、中央大学『仏語仏文学研究』第 45 号 (2013 年 3 月) に発表した。また 2013 年 3 月にフランス・パリ第 7 大学で開催された日仏シンポジウムで行った、クレチアン・ド・トロワの作品群に認められる神話的モチーフについての研究発表も、『ランスロ本伝』研究の一環である。なぜなら、13 世紀前半に成立した『ランスロ本伝』に筋書きとモチーフを提供したのは、12 世紀後半に活躍したクレチアンの作品群だからである。

(英文)

Il s'agit d'un bilan et des perspectives des recherches sur le *Lancelot-Graal*, vaste cycle de romans en prose rédigés entre 1215 et 1235, et dont le *Lancelot propre* constitue la partie centrale. Sont ainsi traités plusieurs sujets tels que la tradition manuscrite du Cycle, la structure narrative du *Lancelot propre* et les motifs mythologiques qui le constituent.

4. おもな発表論文等 (予定を含む)

<p>【学術論文】(著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月)</p> <p>渡邊浩司「13世紀における古フランス語散文<聖杯物語群>の成立」、『人文研紀要』(中央大学人文科学研究所)、査読無、73号、p.35-59、2012年9月</p> <p>渡邊浩司『『ランスロ本伝』の「苦しみの砦」エピソードをめぐる考察』、『伝語伝文学研究』(中央大学伝語伝文学研究会) 査読無、45号、p.1-33、2013年3月</p>
<p>【学会発表】(発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月)</p> <p>渡邊浩司「13世紀における古フランス語散文<聖杯物語群>の成立」、チョーサー研究会、駒澤大学9号館174教場、2012年7月21日(発表要旨は『チョーサー研究会会報』第1号、p.7-9、2013年7月)</p> <p>K. Watanabe, « Les rites funéraires dans les romans arthuriens en vers : le cas de Chrétien de Troyes », <i>Mythes, rites et émotions : les funérailles le long de la route de la soie</i>, Université Paris 7 Denis Diderot (Amphithéâtre Buffon), 2013年3月8日</p>
<p>【図 書】(著者名、出版社名、書名、刊行年)</p> <p>チョーサー研究会、麻生出版、『チョーサー研究会20周年論集』、2014年4月刊行予定、渡邊担当「流布本『メルラン続編』の写本伝承をめぐる考察—騎士ファリアンの戦死と生存」</p>
<p>【その他】(知的財産権、ニュースリリース等)</p>